

2011年7月刊

平 祐 史 著

法然伝承と民間寺院の研究

A5判・450頁／定価9,450円(税込) ISBN978-4-7842-1534-8

近世社会において、民間の浄土宗寺院はどのような変化をとげてきたのか。日本各地の民間寺院に伝わる開創・宗祖伝承や地名、史料等の考察を通じて、浄土宗教義の変容や民俗信仰との関わり合いを明らかにし、歴史民俗と浄土教学史という双方の立場から、民間寺院における近世化の実態に迫る。

さらに、従来看過されがちであった法然にまつわる民間伝承の採集成果や、法然ゆかりの総本山知恩院に所蔵される古記録翻刻の成果を収載。半世紀にわたり、知恩院の史料編纂にも携わってきた著者による、記念碑的論集。

内容目次

<序> 浄土宗の近世化について

❖ 宗祖伝承と一般寺院 ❖

- <1> 法然上人黒谷遁世の社会的背景
- <2> 讃岐国に伝承する法然上人
—法然寺蔵伝親刻法然上人像と瀧宮念仏踊をめぐって—
- <3> 遠州桜ヶ池譚私考
- <4> 法然上人二十五霊場月輪寺札所考
- <5> 史料『美作誕生寺所蔵近世文書』

❖ 民間寺院の生態 ❖

- <1> 寺名よりみた浄土宗一般寺院の前身
- <2> 一村落寺院の開創伝承について
—山城国芹川村海徳寺史覚書—
- <3> 近世における一村落寺院の中興とその壇越
—山城国芹川村海徳寺史覚書—
- <4> 近世における民間寺院の生態
—山城国西院村称念寺文書より—

❖ 鳥羽法伝寺宗義出入一件とその史料 ❖

- <1> 宝暦年中鳥羽法伝寺宗義出入一件
- <2> 『開山不退上人本山江被召出候問答之一件記』
の史料性格について
- <3> 史料『開山不退上人本山江被召出候問之一件記』

❖ 知恩院の古記録より ❖

- <1> 知恩院阿弥陀堂考
- <2> 史料『華頂阿弥陀堂丈六尊像縁由』
- <3> 知恩院蔵『宗名一件抜書』について

<終> 日本仏教教団成立の社会的基盤

たいら・ゆうし…1931年京都市に生る。佛教大学を経て、同志社大学大学院文学研究科文化史学専攻終了。佛教大学専任講師・教授等を歴任。また京都外国語大学・同志社大学文学部・同志社女子大学・大正大学大学院・龍谷大学等の非常勤講師を務める。現在佛教大学名誉教授。浄土宗海徳寺住職。総本山知恩院史料編纂所主任。現在『知恩院史料集・日鑑』は第26巻まで翻刻出版。著書に『月かげの群像』（東方出版、1991年）『法然点描』（古稀記念会、2002年）その他学術論文多数。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 【2011年6月27日より左記に移転】 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	法然伝承と民間寺院の研究	本体9,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1534-8	
お名前	tel				
	e-mail				
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代引(書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)				
					書店番線印

法然伝と浄土宗史の研究

中井真孝著

思文閣史学叢書

都市的な顔と田舎的な体を具有する浄土宗の性格が形成された過程を「法然上人伝」「中世浄土宗寺院」「近世本末関係」を軸に解明する待望の論集。

【内容】法然上人伝の研究／中世浄土宗寺院の研究／近世本末関係の研究

▶A5判・430頁／定価9,240円

ISBN4-7842-0861-5

吉備と京都の歴史と文化

水野恭一郎著

佛教大学鷹陵文化叢書3

岡山と京都の歴史を多岐にわたり探求してきた諸論考を収録。

【内容】吉備地方の歴史と文化(美作国誕生寺／法然上人とその時代／嘉吉の乱と井原御所 ほか)／京都古寺探訪(知恩院塔頭良正院の草創／小野門跡と日野薬師 ほか)歴史と人物(楠木正行の生涯／足利義教の將軍継嗣と後南朝の動向／石田梅岩と石門心学 ほか)

▶46判・320頁／定価1,995円

ISBN4-7842-1052-0

※西山浄土教の基盤と展開

五十嵐隆幸著

日本仏教を基盤に日本浄土教の祖師や、浄土宗の開祖法然の浄土教義、さらに門弟の證空や行観を中心に西山教義をまとめる。「旧仏教・新仏教」「正統仏教・異端仏教」といった対立構造ではなく、浄土教義を軸に日本文化を継承創造する仏道として、日本仏教の姿を構成する試み。

▶A5判・308頁／定価4,200円

ISBN978-4-7842-1529-4

念仏の時空論考

菅田祐準著

浄土教における念仏の問題とこれからの信仰について考察。

【内容】浄土教的正覚の一視点／浄土教を貫く「一元相即の念」論考／浄土教の展開する個の輝きと調和／浄土教「いのち」観の顕示するもの／浄土教法悦の一考察／法蔵菩薩誓願の一考察／法然上人の念仏信仰における実践的諸相とその本源にあるもの など

▶A5判・180頁／定価3,360円

ISBN4-7842-1137-3

般舟讚私講

大塚靈雲著

善導の著書五部九巻のなかで『観経』の注釈『観経疏』を除けば、その他の四部五巻のなかで、とりわけ『観経』そのものについて関説しているのはこの『般舟讚』である。『観経』一經の經説の次第を踏んで讀みあげ、善慧房證空・西山上人の著書『般舟讚自筆鈔』等に依拠しながら、私訳私講を試みる。

▶A5判・540頁／定価3,675円

ISBN978-4-7842-1530-0

日本の社会と真宗

千葉乗隆編

龍谷大学・本願寺史料研究所で千葉乗隆先生の学恩を受けた人々による、真宗史研究における史料・寺院・信仰などのさまざまな課題に取り組んだ成果13篇を収録。【執筆】千葉乗隆・藤井利章・岡本敏行・高橋幸久・日野照正・藤原正己・木村壽・直林不退・濱岡伸也・朝枝善照・知名定寛・左右田昌幸・高島幸次・北野裕子

▶A5判・285頁／定価6,825円

ISBN4-7842-1009-1

人間・科学・宗教

龍谷大学350周年記念学術企画出版編集委員会編

浄土真宗本願寺派が1639年に学寮を創立して以来350年の歴史を刻んだ龍谷大学が、従来の人文・社会・自然の諸科学を総合する人間科学の立場から「科学と宗教」の関係を問い直そうと企画したシンポジウムの報告集。

▶A5判・456頁／定価4,200円

ISBN4-7842-0678-7

瀬戸内海地域社会と織田権力

橋詰茂著

思文閣史学叢書

特産物の塩、周辺物資の海上輸送、在地権力の動向、海賊衆や真宗勢力の台頭、制海権をめぐる抗争など、瀬戸内海・四国をとりまく実態を明かす。【内容】瀬戸内における塩の生産／瀬戸内水運と内海産業／在地権力の港津支配／香川氏の発展と国人の動向／石山戦争と讃岐真宗寺院／織田権力の瀬戸内海制海権掌握／織豊政権の塩飽支配 他

▶A5判・396頁／定価7,560円

ISBN978-4-7842-1333-7

浄土宗西山派と三鈔寺文書

大山喬平解説

京都大学文学部博物館の古文書 第9輯

京都大学文学部国史研究室所蔵の古文書の中からテーマ毎に編集、代表的なものを写真で紹介し、その解説・釈文を付すシリーズ。関係史料や地図・表なども併載し、古文書の研究と鑑賞に資す。

【内容】慈鎮和尚建曆目録／山城国司源師国片宣／無動寺慈円坊政所下文／後村上天皇論旨／二尊院住持善空等請取状／細川藤孝書状など

▶B4判・32頁／定価2,100円

ISBN4-7842-0733-3

権者の化現 天神・空也・法然

今堀太逸著

佛教大学鷹陵文化叢書15

日本国の災害と道真の霊・六波羅蜜寺の信仰と空也・浄土宗の布教と法然伝の3部構成で、仏・菩薩が衆生を救うためにこの世に現れた仮の姿について明かす。

【内容】「天神」日本国の災害と道真の霊／「空也」六波羅蜜寺の信仰と空也／「法然」浄土宗の布教と法然

▶46判・312頁／定価2,415円

ISBN4-7842-1321-X

仏教思想と浄土教

水谷幸正著

学・行・信の課題に於て研鑽を積まれた著者永年の業績を集成。

【内容】第1篇 仏教思想研究／第2篇 如来蔵思想と浄土教研究／第3篇 浄土教思想研究／第4篇 導空二祖の浄土教研究

▶A5判・728頁／定価12,600円

ISBN4-7842-0989-1

念佛的自覚

菅田祐準著

住職が綴る念佛との解返と信仰へのよすが。環境問題など、現代の地球規模的課題を解決する鍵として仏教思想を易しく説いた珠玉の一篇。【内容】釈尊の苦悩／釈尊の目覚めと伝道／救われるということ／念佛的自覚／本願について／この光に遇う／他力ということ／三業弥陀一体の念仏／念佛の利益／輝くいのち／宇宙的調和の中で

▶46判・110頁／定価2,100円

ISBN4-7842-0761-9

禿氏文庫本

大取一馬責任編集

龍谷大学善本叢書29

龍谷大学大宮図書館所管の「禿(とく)氏(し)文(ぶん)庫(こ)」は龍谷大学名誉教授禿氏祐祥博士寄贈の文庫である。その内容は、梵文經典や中国・日本の仏書をはじめ、真宗史・仏教美術に関する典籍、絵画等多岐にわたっており、総数2300余点に及ぶ。その中から善本に値するものを選び、影印として1冊にまとめる。

▶A5判・674頁／定価14,700円

ISBN978-4-7842-1539-3

蓮如上人研究

蓮如上人研究会編

蓮如上人500回遠忌を記念し、上人から学ぼうとする人々のおもいを集めて編まれた論集。根本義など教学上の問題にとどまらず、北陸・近江・四国や中国地方などの各地のつながり。伝記、民俗からみた蓮如上人、更には真宗寺院建築の特色や上人の作庭など、幅広いテーマを扱って読み易く書かれた、蓮如上人の真実の姿を伝える有意義な書。

▶A5判・492頁／定価10,500円

ISBN4-7842-0961-1

※増補 津村別院誌

鷲尾教導編著

旧版『津村別院誌』は初期真宗史学の代表的書誌学者である鷲尾教導師により4年の歳月をかけて大正15年に出版された、草創期の明応5年から現代までの津村別院の歩みを知る貴重史料。復刻にあたり新たに津村別院関係年表と木村寿氏による編著者鷲尾教導師の略伝を付す。

▶菊判・758頁／定価8,925円

ISBN4-7842-0125-4

※中世後期の寺社と経済

鍛代敏雄著

思文閣史学叢書

中世寺社勢力が後退し戦国期宗教が台頭した時代に政治経済上勢力を誇った石清水八幡宮と本願寺教団を主な対象とし、両者の比較も行いつつ、寺領・社領を中心に論じられてきた寺社と経済をめぐる問題に商業史・交通史・都市史の視角から迫り、中世後期の社会経済の変革の実態を具体的に描く。

▶A5判・404頁／定価8,400円

ISBN4-7842-1020-2

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。